

〔IV〕 次の文中の に最も適当な語を語群から選び、また下線部に関する問いに答え、最も適当な記号1つをマークしなさい。

1823年に生まれた李鴻章は、動揺した①清朝の立て直しに奔走した人物として知られる。彼に台頭のきっかけを与えたのが②太平天国との戦いである。曾國藩の などとともにこの戦いに挑み、勝利に貢献した李鴻章は、清朝の政治を主導するようになり、実力者としての地位を確立した。

重責を担う李鴻章の頭を悩ませたのが、朝鮮をめぐる日本との関係である。明治維新をへた日本は朝鮮への進出をめざし、それを妨げようとする清朝との間で対立が深まった。李鴻章は③袁世凱を朝鮮に派遣し事態の対応にあたらせたが、甲午農民戦争をきっかけに日清戦争が勃発した。清朝が敗北すると、李鴻章は清朝側の全権として下関条約に調印した。後に④三国干渉により条約の内容は一部見直されたが、李鴻章の権威は大いに失墜した。

⑤日清戦争後、清朝では改革の気運が高まり、⑥康有為と梁啓超を中心とする若手の人材によって⑦戊戌の変法と呼ばれる改革が実施された。その後の政変によりこの改革は失敗に帰し、やがて清朝は⑧義和団事件により大きな混乱に陥った。外交手腕を買われた李鴻章は政治の表舞台に再び登場し、列強諸国との交渉に全権として赴き⑨講和をまとめたが、まもなく没した。

〔語 群〕

イ a. 淮軍 b. 湘軍 c. 捻軍 d. 常勝軍

〔問 い〕

①19世紀の清朝に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. マカートニーは嘉慶帝に謁見を求め、拒否された。
- b. アヘン厳禁論者の林則徐は、道光帝によって欽差大臣に任命された。
- c. アロー戦争後の北京条約で、天津が開港された。
- d. 対外国交渉のために総理各国事務衙門が設置された。

②太平天国に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. 天朝田畝制度を各地で実施した。
- b. 纏足を廃止した。
- c. 南京を占領して天京と改称した。
- d. 清朝側からは、長髮賊とも呼ばれた。

③袁世凱に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. 北洋軍を増強し、自らの権力基盤とした。
- b. 孫文の後を受け、中華民国臨時大總統に就任した。
- c. 皇帝に即位しようとしたが、第二革命により挫折した。
- d. 日本の提示した二十一カ条の要求を、概ね受け入れた。

④三国干渉に参加しなかった国はどれか。

- a. フランス b. ロシア c. ドイツ d. イギリス

⑤日清戦争後の列強の中国における利権獲得に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. イギリスは威海衛を租借した。 b. ドイツは広州湾を租借した。
- c. ロシアは大連を租借した。 d. 日本は福建省を勢力範囲とした。

⑥康有為と梁啓超に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. 康有為は孔子を改革者にとらえ、清の体制改革を訴えた。
- b. 康有為は辛亥革命後、清朝回復運動に加担した。
- c. 梁啓超はスペンサーの社会進化論を中国語で紹介した。
- d. 梁啓超は章炳麟らと興中会を組織した。

⑦戊戌の変法に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. 明治維新の影響を受けていた。 b. 立憲君主制の樹立をめざした。
- c. 同治帝の支援を受けた。 d. 西太后ら保守派の反発を招いた。

⑧義和団事件に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. 「滅満興漢」というスローガンを掲げた。
- b. 北京に入城し、外交官に危害を加えた。
- c. キリスト教に強く反発し、教会を破壊した。
- d. 鎮圧のため、ロシアなど8カ国が共同出兵した。

⑨義和団事件の講和条約はどれか。

- a. 天津条約 b. アイゲン条約 c. 辛丑和約 d. 黄埔条約